

令和6年第14回

荒川区教育委員会定例会

令和6年7月26日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和6年荒川区教育委員会第14回定例会

- | | | |
|--------|---|--|
| 1 日 時 | 令和6年7月26日 | 午後2時00分 |
| 2 場 所 | 特別会議室 | |
| 3 出席委員 | 教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員
委 員 | 高 梨 博 和
小 林 敦 子
繁 田 雅 弘
長 島 啓 記
坂 田 一 郎 |
| 4 出席職員 | 教 育 部 長
教育総務課長
教育施設課長
教育施設管理課長
学 務 課 長
指 導 室 長
教育センター所長
生涯学習課長
子育て支援課長
書 記
書 記
書 記 | 三 枝 直 樹
山 形 実
田 中 欣 也
井 上 千 恵
渡 辺 裕 登
下 条 知 淑
杉 山 茂
篠 原 啓 輔
本 木 理 恵 子
齋 藤 一 幸
吉 田 夏 彦
宮 島 弘 江 |

(1) 報告事項

ア 令和6年度子ども議会の開催について

イ 第43回「あらかわの伝統技術展」の報告について

(2) その他

教育長 定刻になりましたので、ただいまから荒川区教育委員会令和6年第14回定例会を開催させていただきます。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、5名全員出席でございます。

議事録の署名委員につきましては、小林委員、繁田委員、御両名にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

5月10日開催の第9回定例会の議事録につきましては、前回の定例会にて配付し、この間、委員の皆様にご確認をお願いしてまいりました。本日、特に御意見等がなければ承認とさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 承認とします。

それでは、本日の議事日程に従いまして、ただいまから議事を進めさせていただきます。

本日は、報告事項が2件となっております。

初めに、報告事項ア「令和6年度子ども議会の開催について」を議題といたします。子育て支援課長、説明をお願いします。

子育て支援課長 子育て支援課長の本木と申します。本日はよろしくお願いいたします。令和6年度子ども議会の開催につきまして御説明をさせていただきますと思います。

昨年4月に荒川区子どもの権利条例が施行されたことに伴いまして、昨年同様、条例の周知・啓発、区政への子どもの意見を反映させることを目的として開催するものでございます。

開催は、令和6年8月27日火曜日の午後からを予定してございます。

会場は、荒川区議会議場において行う予定でございます。

子ども議員でございますが、今年度も区立中学校10校から各校2名ずつで、合わせて20名の子ども議員を選出しました。

当日の流れですが、開会宣言後、子ども議員からの質問に対しまして、区側から課長級職員が答弁いたします。質問は各校2名で1つの質問、または1人ずつ質問するなど、学校ごとに決めております。

今回の子ども議会の開催に当たりましては、区の施策についての説明会を開催したほか、質問の作り方について研修会を開催いたしました。

教育委員の先生方におかれましても、御都合がよければ、当日、御観覧いただければと存じます。その御案内につきましては封筒の中に入れてさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

子ども議会の説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いします。

坂田委員 昨年始めて、非常に評価が高かったと記憶をしております。子どもたちの意見もそうですけども、課長級職員の方々にとっても、直接そういった意見を受けて自分で答えるといういい経験の場だということだと記憶しております。

今回は、質問としては、基本的には去年の形を踏襲して開催するということでよろしいでしょうか。

子育て支援課長 去年の形を踏襲させていただきます。運営する我々のほうもノウハウがまだ身に付いてないところもございますので、同じ形でやらせていただきまして、ノウハウを積み重ねさせていただければと思っております。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

小林委員 この子ども議会に関しては昨年度も報告がありまして、大変に素晴らしい取組であるとお伺いしておりますので、とても期待しております。これから荒川区を担ってくれるような中学生の意見がより反映されるといいですね。

質問の作り方の研修を実施されたということで、その点につきまして御説明をお願いできればと思っております。

指導室長 ありがとうございます。

まず子ども議員の皆さん方にお集まりいただきまして、昨年同様、まず一度、こちら3の1に書いてありますが、荒川区でこんな施策を進めていますよということを全体を通してまず皆さんに、1時間ほどなのですが、御説明を申し上げて、全体像をつかんでいただくという研修を行いました。

その後、それぞれ各子ども議員さんから、昨年度こんな質問が出ましたよというところもお伝えさせていただいて、また校内で御指導に当たられた先生方、先輩のお話を直接聞きながら、自分自身の問題点、質問内容を複数選んでもらいながら、話し合いながら今回やったと。そこは本当に昨年度の経験を生かしながら各子ども議員さんが自主的に、それから積極的に質問内容を考えていただいたという内容になっています。

小林委員 ありがとうございます。質問内容を深めると、区政に関しても関心を持ってもらえますので、とてもいい試みだと思っております。

指導室長 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

長島委員 昨年、たまたま時間があつたので参加させていただいたのですけれども、たしか議長も生徒が交代でやったのですね。大変立派にやられているなあと感心して見せてもらいました。

それで、開催に当たった取組の中で、今の教科書採択で公民の教科書を見た関係もあつ

て、そのときに地方行政はこうなっている、議会の仕組みはこうなっているなど、そういうのは何かやられているのかどうなのか。各校2名ですけれども、学年はたしか様々でしたね。違いましたか。こちら辺はどうなっているのかなと思ひまして。

指導室長 ありがとうございます。

小学校の段階でも、特に6年生、それからあと4年生が議場見学にも来ますし、もちろん社会科の中学生の中でも公民的分野の中で、こうした政治の仕組みについては学んでいるところがございます。

今回も主に2年生と3年生の生徒さんが応募してくださいました。そういったところから、ふだんの学習内容を実際に子ども議会で体験することによってより理解を深めて、そしてそれを、昨年度もありましたが、自分たちはこういうことを質問して回答があったということ、を学校に戻って全校朝会等々で周知するという取組で、より広がっていくように学校のほうも配慮していただいているということで、この経験が学習につながっていくということは私たちも今後とも配慮していきたいと考えております。

長島委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

繁田委員 参考にお聞きしたいのですけれども、子どもたちの質問は領域としてはどんな領域でしょうか。例えば経済であるとか医療・福祉、介護であると思うのですけれども。

指導室長 今回、10校20人の子ども議員から17の質問が寄せられました。1人1つとしているところもあれば、2人で1つの質問としているところもあります。

今回、質問に役所の所掌の部ごとにお答えさせていただきたいのですが、一番多かったのが防災都市づくり部で5つの質問がありました。荒川区の再開発や木造建築物の災害対策、それから道や歩道の安全、そういったところが非常に問題意識の高いお子さんが多かったです。

次に多かったのが地域文化スポーツ部で、4件ありました。これも、荒川区の中で再開発してスポーツ施設をどうやって増やしていくのですかなど。それから図書館、電子図書館を増やしてはいかかですか。あとは、町屋のほうで子どもたちが学び遊べる施設が欲しいと。本当に地域の振興についてというところが多かったです。

あとは、区民生活部が3つ、産業経済部が3つと、それから環境清掃部が1つ、子ども家庭部が1つ、そして子ども教育委員会は1つというところの傾向でございました。

ちなみに、教育委員会は校庭の利用について、遊びやすく防球ネットを高くしたり、芝生化をしたりなど、そういったところの計画はありませんかというような御質問をいただいているところがございます。

以上です。

繁田委員 環境というのはごみですか。

指導室長 環境につきましては、食品ロスと、その対策というところ。給食の残菜のところから問題意識を発展させたようで、こういった質問をいただいております。

繁田委員 ありがとうございます。大変参考になりました。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

昨年子ども議会については、教育委員の先生方に傍聴していただいたのですが、区議会議員の方たちも多数傍聴をされました。その質疑の内容を踏まえ、区はどうなのだというようなことで、議会で改めて御質問をいただく機会がありました。子どもたちはこう考えている、子ども議会でこういった意見があったということでした。そういった意味では、当日だけではなく、子どもたちの意見が区政に反映されるという流れもできつつあると思っております。

よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 では、本件については以上とさせていただきます。

次に、報告事項イ「第43回『あらかわの伝統技術展』の報告について」を議題といたします。生涯学習課長、説明をお願いします。

生涯学習課長 今回、御報告させていただくものは、第43回「あらかわの伝統技術展」の御報告についてでございます。

ポイントでございますが、江戸から受け継がれた伝統工芸技術のすばらしさを区内外に広く紹介する事業として開催をいたしました第43回「あらかわの伝統技術展」について御報告するものでございます。

会期、会場は記載のとおり、7月12日から3日間、荒川総合スポーツセンターで実施をしております。

当日は開会式典、また技術展のほうに御来場いただきまして、ありがとうございました。

参加職人としましては55名、3団体の方に御協力をいただきました。内訳は記載のとおりでございます。

全体の入場者数としては約8,300人というところで、うち学校見学で御来場いただいた児童さんたちは1,400名、詳細は小学校22校で児童数1,372名というところでございます。

また、当日は、荒川区伝統工芸技術保存会が、各職人から御提供いただきました伝統工芸

品等の売上げを能登半島地震の復興応援として寄附することを目的で、チャリティーも開催してございます。そのチャリティーでの売上げとしましては、17万6,500円であったというところでございます。

主なイベントとしまして、職人の体験コーナーとして17業種、それから職人よもやま話としまして「伝統に生きる」という映像の上映と、昨年度、指定されました桐たんすの村井御兄弟に登壇いただき談話をさせていただいたというところでございます。

また、若手職人の展示コーナー「荒川の匠育成事業」研修者による展示・解説、それから職人ツアー、閉会式で、初出展いただいた方への感謝状の授与等を行ったところでございます。

雑駁ではございますが、御説明は以上となります。よろしく申し上げます。

教育長 本件につきまして、御意見、御感想等ありましたら申し上げます。

繁田委員 入場者の数は、ここ何年間はどのように変化してきているのですか。

生涯学習課長 ありがとうございます。

昨年度が制限なしで久しぶりに1万人というところでございます。今年度は8,300人ということで、微減というところなのですが、要因としましては、この猛暑が続いたというところ、それから、土日はゲリラ的に雨が降ったというところも影響しているのかなと捉えているところでございます。

繁田委員 ありがとうございます。

来年は能登にも声をかけていただいて、可能であれば、ぜひ来ていただけるといいですね。

生涯学習課長 今回、具体的に寄付する窓口はまだ決まってははいないところですが、能登のほうにチャリティーもさせていただくことで、こういったつながりをもって、ぜひ能登の方にもお声かけはしていきたいと考えてございます。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

小林委員 開会式は参加させていただきました。入場者数が、去年よりは少し減ったようですが、多くの方が参加しておられて、それだけニーズがあり、伝統技術への興味関心も非常に高いことを感じております。ぜひ継続的に続けていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

坂田委員 教育委員会でということではないのですけれども、こういった伝統技術をどういったものを作るのに使うかといったところが、今後の技術の維持とか育成とかに大きく影響し

てくると私は思っています。

京都のほうでは、例えば世界的なブランドのワインのデキャンタ、それからイタリアの服飾ブランドと組んだ製品を作ったり、そういったようなこともされているのですよね。

結局、いい技術であっても需要がないと成長できない、もしくは維持できないということなので、技術を現代的な社会の中で需要が高いようなもの、それから高く評価してくれるようなところに向けていくようなつながりをつくっていくというのも、すごく大事ではないかなと思っています。こういう展示会のような機会を生かして、海外にも発信していければなと思います。

コロナの前ですけれども、海外からの来客もあったと思うのですが、現状はどんな感じなのでしょう。

生涯学習課長 まず、海外の方からの御来場、実数としては取ってはいないところではあるのですが、当日、週末でもあったということで、割合、外国籍の方も会場では見かけたというところ。

それから、今回、地域文化スポーツ部文化交流推進課で交流しているウイーンの地区と、隣の地区ではあったのですが、そのつながりの関係で荒川区に御訪問いただいたという方も御来場いただけるということで、ゆいの森を見ていただいた後に伝統工芸技術展を見ていただきました。1時間ほどお帰りになるのかなと思っていたのですが、かなり長い時間見ていただいて、いいものだということで当日いろいろ購入もしていただいたというところがあります。今、御指摘いただいたとおり、海外に対しても日本の技術というものが発信力があるものだと思っていますので、そういったつながりの中で発信していきたいというように考えているところと、あとは実際に伝統技術展、産業経済部とも連携してやってございます。産業経済部としては荒川ブランドというようなことでブランディングをして発信していくことを進めていただいていますので、引き続き発信していけるように連携を深めていきたいと考えているところでございます。

教育長 そのほかいかがでしょう。

長島委員 工作好きの小学生を連れて参加しようと思ったのですが、果たせず、申し訳ありませんでした。1つは、やはり暑さ、天候ということもあったのですが、この43回で開催月というのは、この7月の中旬ぐらいですと来ているということなのではないでしょうか。

生涯学習課長 例年でいうと7月の第1週で開催をしております、今回は都知事選の影響で1週ずれ込んで第2週になったというところなのですが、この夏の時期に開催をしているというところでございます。

実態としては、会場を押さえるというこの3日間、また準備も含めると前後で5日間ほど大きい会場を押さえずにはいけないというところで、なかなか代替となる会場を見つける難しさを感じているところではございますので、来年度は今のところはスポーツセンターでの開催を予定しているというところでございます。

長島委員 温暖化と考えると、また猛暑が続くのかなと思ってお聞きしました。ありがとうございます。

教育長 そのほかよろしいですか。

小林委員 このあらかわの伝統技術展ですけれども、例えば映像での配信とか、そういったことはこれまでされてこられていますか。

生涯学習課長 いわゆる技術展の映像というところではないのですが、ケーブルテレビなどに御取材をいただいて、そういった中で御周知等ということは実施をし、それはユーチューブの公式チャンネルのほうで掲載をしているので、映像としても見ていただけるという環境にはあるというところでございます。

教育長 坂田先生がおっしゃられたように、外国向けにPRの動画など、今年の様子を短くして一緒に配信すれば、きっとより多くの観光客の皆さんに御覧になっていただけるのではないかと思います。

今年も数多くの小学4年生が見学をさせていただいたのですが、受け入れていただいた職人さんたちから御意見とか御感想とかをお聞きになっていますか。

生涯学習課長 全ての方にいろいろ御意見を聞けたというところではないのですが、金曜日の日に、ちょうど子どもたちが来た夕方、一旦会場を閉めてから、ほかの地域の方も来ていただいているという中で、交流会で意見交換させていただいたところです。そういった中で、昨年度からではありますが、多くの子どもたちに御来場いただけて元気をもらえるというようなところをコメントとしていただいています。

また、学校見学で来て、その後、保護者の方と一緒に土日にまた来て、体験コーナーを繰り返し体験していただいたという児童さんもたくさんいらっしゃいまして、そういった部分で職人の方も5時ぎりぎりまで子どもたちとコーナーをやってくれているという中では、職人の方にも喜ばれていると認識しているところでございます。

教育長 ぜひ機会がありましたら、職人の方々にも御礼を申し上げていただきたいと思います。

生涯学習課長 承知しました。

教育長 よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

教育長 それでは、報告事項については以上とさせていただきます。

次に、その他の報告事項としまして、教育委員会の日程について、山形教育総務課長、説明をお願いします。

教育総務課長 7ページを御覧いただければと思います。今回については修正はございません。

8月9日、教科書採択がございます。13時30分から、かなり長い時間になりますけれども、どうぞよろしくをお願いします。

以上でございます。

教育長 控室がありますよね。

教育総務課長 控室がございますので、1時過ぎにいらしていただいて御準備をしていただければと思います。

教育長 前回説明させていただいたように、1時半から始めさせていただきたいと思いますので、15分前に控室にいらしていただければと存じます。

それでは、以上をもちまして教育委員会令和6年第14回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

了